



湘北短期大学の SDGs について ご紹介するニュースレターです

～発行者からのお知らせ～

23 年度から、Web サイト湘北 SDGs を開設し、授業や大学全体の取り組みを紹介しています。

ニュースレターでは、Web サイトに掲載した記事の中から、学科の授業や部門ごとの活動を、カテゴリー別にまとめて紹介していきます。

今後とも湘北短期大学は地域に根ざした教育機関として「Think Globally, Act Locally」を合言葉に、社会課題の解決にむけて持続可能な未来の創り手を社会に送り出していきたいと思います。

8 働きがいも
経済成長も10 人や国の不平等
をなくそう

湘北 SDGs

Think Globally, Act Locally.

2024 年度 第 3 号

(通算第 18 号)

今回の発行人 築瀬千詠

yanase@shohoku.ac.jp

学校法人ソニー学園 湘北短期大学

生活プロデュース学科・リベラルアーツセンター

〒243-8501 厚木市温水 428 TEL:046-247-3131 FAX:046-247-3667

【授業紹介】

特別講義：ソニー・太陽株式会社の取り組みと継続性

(2024 年 6 月 11 日)

総合ビジネス・情報学科の「プレゼミナール」(1 年生必修科目)において、ソニー・太陽株式会社より安部秀さん、林信一さんをお招きし、SDGs に関する取り組みについてご講演いただきました。

ソニー・太陽株式会社は、高品質なもののづくりと障がい者雇用に力を入れており、多様性を尊重し「障がいを感じない、感じさせない」環境をつくるなど、企業としての継続的な取り組みについて現場の声を交えてお話を伺うことができました。

授業の後半では、地球を守るために「自分たちに今できること」「地域と連携し継続してできること」について、グループで意見を出し合いました。「エコバッグやマイボトルの活用」「節電・節水」「ゴミの分別」「地域の清掃活動への参加」など、様々な意見がありましたが、まだ取り組んでいない活動は「いつアクションを起こすのか?」という安部さんからの問いかけに対し、学生たちも SDGs に関する様々な取り組みを自分事として再確認できたようでした。

以下は授業に対する学生の感想の一部です。

「SDGs の観点において自分が今できる地球を守るための取り組みの再確認や地域との連携で行える活動を見つけるいい機会になりました。」

「地域の活動をするにはコミュニケーションが必要と言っていたグループがあり、ただ活動するのではなく楽しく活動するためにもコミュニケーションは大事なんだなと思いました。」

「インクルージョンワークショップなど初めて聞く活動についてもっと知りたいと思いました。」

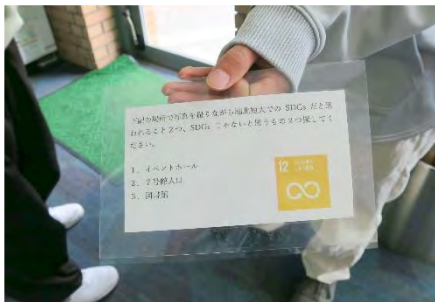
授業終了後にも数名の学生が残り、安部さんと林さんに様々な質問をしていたことも印象的でした。

(総合ビジネス・情報学科 高嶋章雄)

【授業紹介】「プレゼミナール」学内で探す SDGs（2024 年 5 月）

総合ビジネス・情報学科の「プレゼミナール」（1 年生必修科目）において、身近な SDGs について考えました。指令書に記された SDGs17 項目のいずれかについて、グループにわかれ学内を散策し「SDGs だと思うところ」「SDGs じゃないと思うところ」を探し出しました。該当の SDGs 項目に関し、図書館で関連図書を選び、それぞれスライド資料にまとめることで SDGs をより身近に感じることができたようです。給水スタンドや分別ゴミ箱など、学内の SDGs に関する取り組みをたくさん見つけることができましたが、一方で、紙を多用した掲示や、節電のできるような機械など、今後の取り組みの対象になるところも複数ありました。学生たちの次のアクションに期待したいです。

（総合ビジネス・情報学科 高嶋章雄）



【特別寄稿】

授業紹介 「経営リーダーの知恵に学ぶ」（毎年後期開講）～（新）地震・雷・火事・親父～

僕の授業【経営リーダーの知恵に学ぶ】（総合ビジネス・情報学科 1 年選択科目）では、学んだ知恵を何に活かすのかの説明として、日本がこれから直面する問題「（新）地震・雷・火事・親父」を取り上げています。この古くからある「新語」は、今から 8 年前に縄文塾という経営塾の塾長、花房正義さん（元日立キャピタル会長、元日立製作所取締役）から伺った「警鐘」で、地震＝東南海大地震、雷＝日本を取巻く外交問題、火事＝日本の財政赤字問題（1300 兆円）、親父＝超高齢化社会を指しています。

今後、確実に日本国民を襲うであろうこれらの危機的状況の中で、組織のリーダー、或いは家庭のリーダーとしてどの様に振舞ったら良いのか、それを国内外の著名な経営リーダーから学ぼうと事を僕の授業の意義の一つとしています。

但し、その中に SDGs の 17 項目の視点が欠けている事に気付き、この原稿を投稿しています。2004 年の初夏のある日曜日の朝、隣に住んでいたスウェーデン人のお医者さんが、僕の家を呼鈴を鳴らしてドア口に立っていたのです。「こんな朝早くから何ですか？」と尋ねると「Kazu、これを見てくれ！」と一頭の蝶々を掌の上に乗せています。「この地中海地域に生息する蝶々は、今まで一度もアルプスを越えて、このスウェーデンまで来た事はないんだよ。でも、今朝僕たちの庭にいたんだ！」と大興奮気味でした。その時は「へえ～そうなんだ、有難う」と答えてドアを閉めて、またベッドに潜り込んだのですが、今考えると、温暖化による地球環境破壊は 20 年前に、一頭の蝶々が「警鐘」を鳴らしていたんですね。今年の授業では、この SDGs の視点を織り込む工夫をしなくてはと危機感をもっています。皆さんはどうですか？

2016年正月、縄文塾の花房塾長は
「(新) 地震・雷・火事・親父@20xx年が必ずやって来る」と予言しました。



■ 地震： 東南海トラフ大地震 (+首都直下型地震)

■ 雷： 日本を取巻く外交問題

■ 火事： 日本の超財政赤字と超円高

■ 親父： 超高齢者社会

縄文塾 塾長： 花房 正義 (はなぶさ まさよし)
(元日立キャピタル代表取締役会長/日立製作所取締役)
・実業家
・東京経済大学卒業
・財界賞 経営者賞などを受賞



（湘北短期大学 理事長 高野瀬一晃）